

金沢 ぶらさんぽ°

～ 金箔の町を楽しむ～

金沢は「金箔」の町

江戸時代、加賀百万石の城下町として栄えた金沢。歴代加賀藩主の文化奨励策によって工芸の技が研ぎ澄まされ、独特の美意識を有する伝統文化の世界が開かれました。今も、藩政時代の面影を感じさせる町並みと、優れた伝統工芸品を見ることができる金沢は、国内外の観光客から注目されています。

工芸都市金沢はまた、日本の金箔生産量のほぼ100%を占める「金箔」の町としても知られています。箔の製造に適した気候や風土のもと、金沢の箔職人たちの熟練した高度な技術力が、途切れることなく連綿と伝え続けられてきたからに他なりません。

この「金沢ぶらさんぽ～金箔の町を楽しむ～」は、金沢の町に散りばめられた、“きらり輝く金箔の魅力”を見つけていただくための葉です。





CONTENTS

さりり輝く金箔の魅力

| | |
|----------------|---|
| 金沢金箔のあゆみ | 4 |
| 世界が認めた縁付金箔製造技術 | 5 |
| 縁付金箔の製造工程 | 6 |
| 断切金箔の製造工程 | 8 |
| 金沢箔の種類 | 9 |

金箔の町 金沢へようこそ

| | |
|---------------------------|----|
| 観光におすすめのバス / シェアサイクル まちのり | 11 |
| 金沢市外地図 (折り込みページ) | 12 |
| 【金箔工芸体験店舗】 | |
| 今井金箔 | 16 |
| かなざわカタニ | 17 |
| 金箔屋 さくだ | 18 |
| 箔座 | 19 |
| 金箔工芸 田じま | 20 |
| 箔一 | 21 |
| Gold-Knot (ゴールド・ノット) | 22 |
| 【金箔博物館】 | |
| 安江金箔工芸館 | 23 |

“きらり輝く金箔の魅力”

金沢金箔のあゆみ

{ 金沢での金箔づくりが、製造禁止の時代を経て、国内生産の99.9%を担うまでの歴史 }

黎明期

金沢の箔打ち、加賀藩祖前田利家が七尾で金箔を金沢で銀箔を打つように命じていることから、16世紀末までに始まっていたことが確認できます。ところが江戸時代(1603-1867)になると、幕府が箔座を設置して諸藩の金銀箔の製造販売を禁止したため、18世紀末以降は途絶えました。

復興期

箔打ちが再開するのは19世紀に入ってからです。世紀初頭、火事で焼けた金沢城の再建にあたり、藩が京都から職人を呼んで金箔を打たせたことがきっかけとなり、金沢の職人たちは箔打ちの技術を習得し、藩も彼らに御用箔を打たせました。しかし御用箔では満足できない彼らは、自由に金銀箔を製造し販売する権利を求めて運動を起こします。幕府は、販売権は与えましたが製造権は認めませんでした。それでも彼らは城外に細工場を設けて、銅箔や錫箔を打つ傍ら、江戸から運ぶ途中で壊れた箔の打ち直しを名目に金銀箔を打ち続け、幕末には製造権を勝ち取ったのです。

発展期

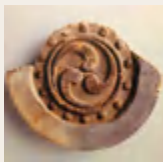
このようにして復興した金沢の金箔は、明治(1868-1912)以降、産業として発展します。幕府の金座・銀座が廃止されると江戸の箔打ちにはわかに衰退し、これに代わって金沢箔の生産が増加、明治中期には品質と生産量を管理する有志の同業組合が結成され、金箔は羽二重に次ぐ金沢を代表する産物に成長します。大正(1912-1926)初期、電動箔打機が開発されると生産性は飛躍的に向上し、第一次世界大戦で生産量を落としたドイツ箔の穴を埋めるように生産も輸出も伸ばしました。

昭和から現代

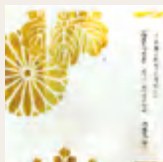
昭和(1926-1989)に入ると、戦争の拡大とともに諸種の制限令が出され、箔業界は転業・廃業が続出し壊滅状態に陥りました。制限令が解除された戦後は、経済成長を背景に仏壇仏具に使われる金箔の需要が大幅に増加して好況が続きます。バブル崩壊は金箔産業を直撃しましたが、業界は、食品や化粧品、身の周りの小物、インテリアやエクステリアへの応用など、新たな領域への拡大を図り、現在にいたっています。



加賀藩祖 前田利家画像
(桃雲寺)



金箔軒丸瓦
(石川県埋蔵文化財センター)



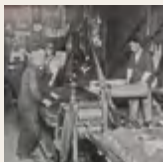
金沢城再建時の模貼り金箔
見本 (玉川図書館近世資料館)



幕府金座から越野左助へ交付された「金箔請売所」の看板



電動箔打機を開発した
三浦彦太郎氏



三浦製箔工場作業風景



美術工芸品の風格を備えた
金沢仏壇 (安江金箔工芸館)



観光客にも大人気の
金箔ソフトクリーム

伝統を引き継ぐ金箔

金箔の製箔は復活を図った19世紀初頭からすでに200年が経ちます。

箔打ちが続いた理由は、犀川や浅野川の水質が箔打紙の仕込みに適していたことや、加賀藩の工芸政策によってものづくりの伝統が根付き、その精神が箔の製造にも活かされたことが挙げられます。

現在金沢に伝わる箔打ちの技術は京都から学んだものですが、京都の箔打ちは戦後に途絶えたので、日本の伝統的な箔打ちを継承しているのは金沢だけです。



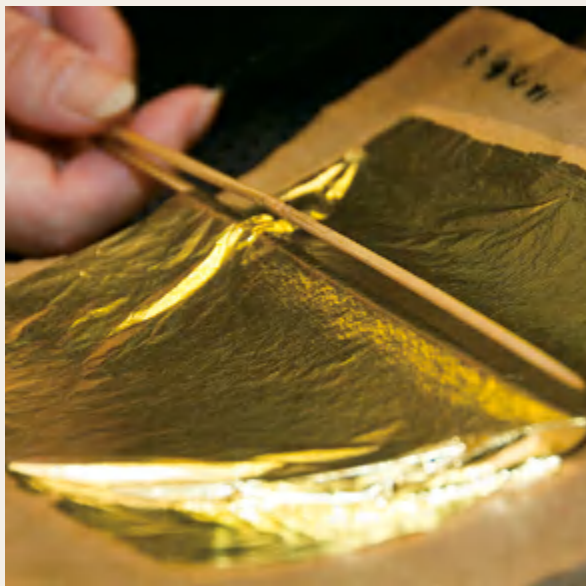
金沢城公園そばにある金の兜が眩しい加賀藩初代藩主「前田利家公之像」

“きらり輝く金箔の魅力”
えんつげ

世界が認めた縁付金箔製造技術

伝統技術で作られた金箔は縁付金箔と呼ばれ、その製造法は、2014年国の選定保存技術に指定され、さらに2020年には、「伝統建築工匠の技」の一つとしてユネスコの無形文化遺産に登録されました。

縁付金箔の生産量は金箔全体の20%に留まっていますが、箔質は柔らかくしっとりと輝きます。その工芸品のような趣は伝統工芸や文化財の保存修復に欠かすことができません。



金箔の伝統製法による「箔を移す」作業。少しの風や静電気でも破れてしまう非常に薄い金箔を扱うには、静電気が起こりにくい竹箸を使用します。金沢では、このような職人技を見学することもできます。

“きり輝く金箔の魅力”
えんつけ

伝統的な金箔「縁付金箔」の主な製造工程

製造工程は、大きく澄工程と箔工程に分かれ、前者を澄職人が、後者を箔職人が担います。澄職人は、金に銀や銅を溶解した金合金を作り、それを1/1,000mmの薄さの澄まで打ち延ばし、箔職人は、その澄を更に打ち延ばして1/10,000mmの箔に仕立てます。

【澄工程】 澄職人が行います。



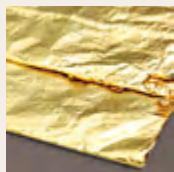
- 1 純金に少量の銀と銅を溶解する。
- 2 板状の金合金を作る。
- 3 機械で何度もローラーをかけ、帯状の金合金を作る。(厚さ約1/50mm)
- 4 約6cm角に裁断。



- 5 ハトロン紙(約12cm角)に1枚ずつ挟む。
- 6 200枚を1束にして革で包む。
- 7 紙面いっぱい、機械で打ち延ばす。
- 8 ハトロン紙(約18cm角)に移し替える。
- 9 紙面いっぱい、機械で打ち延ばす。
- 10 4等分に裁断。



- 11 澄打紙(約19cm角)に1枚ずつ挟む。
- 12 800枚を1束にして革で包む。
- 13 紙面いっぱい、機械で打ち延ばす。
- 14 澄打紙(約20cm角)に移し替える。
- 15 紙面いっぱい、機械で打ち延ばす。



- 16 艶消しに仕上げるために1枚ずつハトロン紙に移し替え、機械で軽く叩く。
- 17 3つ折りにする。

● 「上澄」の完成。(厚さ約1/1,000mm)

【箔工程】 箔職



金・銀・銅の
比率で
色味が決まる

「紙に挟む」
↓
「打ち延ばす」



{ 職人さんのきめ細かな判断によって一概に定義しにくい内容もあるのですが…ざっと紹介するとこんな感じです。なにしろ驚異的です }

紙の出来不出来が金箔の良し悪しを決めます。そのために手間暇をかけて紙仕込みを行います。昔から「箔作りは紙作り」と言われる所以です。紙仕込みは澄職人と箔職人がそれぞれ行います。

人が行います。

① 厚さが不均一な「上澄」を職人の目利きで、大きさを変えながら9～12片に切り分ける。

② 箔打紙の間に挟む。

③ 約1,800枚を1束にして革で包む。

④ 機械で打ち延ばす。(→熟発生)

⑤ 束を小分けにして冷ます。

▷ ④⑤を約10cm角になるまで繰り返す。

⑥ 仕上げ打ち用の箔打紙に移し替える。

⑦ 電熱器で束ごと温めて、箔と箔打紙の湿気を飛ばす。

⑧ 束を解いて、箔の延び具合を確認する。

▷ ④⑤を厚さ約1/10,000mmになるまで繰り返す。

⑨ ひろものちょう みつまたがみ
100枚で1冊の広物帳(三椏紙)へ品質確認しながら一時保管するため打ち上がった金箔を1枚ずつ移し替える。

⑩ 金箔を広物帳から革板の上に移し、竹製の枠で既定サイズ(10.9cm角など)に切り揃える。

⑪ はくあいし みつまたがみ
箔合紙(三椏紙)と交互に重ねる。(1セット100枚)

● 「縁付金箔」の完成。(厚さ約1/10,000mm)

上澄を
切り分ける

「打ち延ばす」
↓
「熱を冷ます」

静電気に
気を使いながら

【紙仕込み】 澄職人・箔職人それぞれが行います。

澄打紙 (ずみうちがみ)

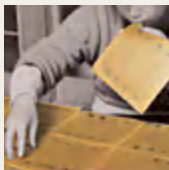
原料: 稲わらの茎を主原料に糊を加えた手漉和紙
紙仕込み期間: 約1週間

- ① 水で満遍なく湿らせる。
- ② 機械で叩く。
- ③ くっついている紙を1枚ずつはがす。
▷ ②③を数回繰り返し、完成。

箔打紙 (はくうちがみ)

原料: 雁皮がんびに特殊な土を加えた手漉和紙
アク汁(稲わらの灰汁+柿渋+鶏卵)
紙仕込み期間: 約3～4ヵ月

- ① 水で満遍なく湿らせる。
- ② 機械で叩く。
- ③ くっついている紙を1枚ずつはがす。
▷ ②③を紙同士がはがれるまで繰り返す。
- ④ アク汁に紙を浸す。
- ⑤ 1枚ずつ紙をはがし乾かす。
- ⑥ 機械で叩く。
- ⑦ くっついた紙をはがして、また叩く。それを紙同士がくっつかなくなるまで繰り返す。
- ⑧ ④～⑦をさらに2度繰り返す。
- ⑨ 熱源を使い乾燥。(→紙が膨らむ)
- ⑩ 膨らんだ紙を機械で叩いて完成。



“さり輝く金箔の魅力” たもきり

近代的な金箔「断切金箔」

金箔の主力、断切金箔

金箔の主力は生産量の80%を占めている断切金箔です。戦後の高度経済成長が本格的に始まる1960年代、急増する金箔の需要に対応するために開発されました。カーボン紙という新種の紙を使うことにより、製造工程の省力化を実現した金箔です。

試行錯誤を重ね、今では縁付金箔に匹敵する水準に達しています。光沢のある凜とした輝きが特徴です。



工場生産のグラシン紙に、カーボン（油脂の煤）、アルミ粉、ミルクカゼイン、界面活性剤の溶液を塗布する。

【断切金箔の製造工程】 1/1,000mmの「上澄」を1/10,000mmの「金箔」に仕上げます。

① 澄切り

厚さが不均一な「上澄」を職人の目利きで、大きさを変えながら9～12片に切り分ける。



② 仕入れ

切り分けた上澄をカーボン紙に挟み込み、1,600～2,000枚の束にして、袋革でしっかりと包む。



③ 打ち前

箔打機で一気に厚さ1/10,000mmに叩き延ばす。

途中で何度か袋を開けて熱を冷ます。箔打機の筒は太く打圧も強い。



④ 箔移し

打ち上がった箔を合紙（切り紙）の間に挟み込む。



⑤ 断ち切り

箔と合紙の積層体の4辺を薄刃で断ち切る。



⑥ 完成

断切金箔の完成。光沢ある凜とした輝きが美しい。



“きらり輝く金箔の魅力”

金沢箔の種類

{ 守り継がれる箔。進化する箔。それが金箔 }

【金箔】

金箔は金の配合率を変えることで、異なる色合いや風合いを出すことができます。現在、石川県箔商工業協同組合では、7種類の標準色を定めています。注文に応じて配合率を変えることもできます。

◎ 金箔の種類と合金の割合 (%)

| | 純金 5毛色 | 純金 1号色 | 純金 2号色 | 純金 3号色 | 純金 4号色 | 三步色 | 定色 |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 金 | 98.912 | 97.666 | 96.721 | 95.795 | 94.438 | 75.534 | 58.824 |
| 銀 | 0.495 | 1.357 | 2.602 | 3.535 | 4.901 | 24.466 | 41.176 |
| 銅 | 0.593 | 0.977 | 0.677 | 0.670 | 0.661 | — | — |

【プラチナ箔^{はっさん}（白金箔）】

純プラチナを金箔と同じように薄く延ばして作られます。

【銀箔】

織物用銀糸や金属糸、扇子、襖紙、壁紙、表具、水引などの各種工芸品から製菓用に幅広く利用されています。銀箔は、御幸箔や光陽箔のように特殊処理によって、多彩な色彩を持たせることができます。また、銀箔を硫黄で燻すことによって、金色、赤色、青色、黒色の順に変化させることができ、これを焼箔といいます。



色箔（いろはく）



焼箔（やきはく）



吉田美統／釉裏金彩大山蓮華文皿
生地に金箔や金泥等で文様を描き、その上から釉薬をかけて焼き上げる。金彩は独特の透明感を見せる



藤田喬平／飾箔「龍田」
熱せられた色ガラスに厚手の金・銀・プラチナ箔を貼り付け、型の中に吹き込んで成形する



西出大三／截金彩色合子「春苑」
截金（きりかね）は焼き合わせた複数枚の金・銀箔を竹刀（くさう）で線形、方形、長形、菱形等に切り、器体に貼って文様を描く

（いずれも安江金箔工芸館所蔵）



金箔の町 金沢へようこそ

古さと新しさが共存する町を散策しながら
 金沢ならではの旅の思い出に
 金箔の工芸体験はいかがですか？



📺 観光におすすめのバス www.hokutetsu.co.jp



🌳🌳 城下まち金沢周遊バス (左回り・右回り)

- ◎ 運 行: 金沢の主な観光スポットを 15～20 分間隔で巡回。
- ◎ 料 金: 1乗車 おとな 210円、こども 110円 (金沢市内1日フリー乗車券 おとな 800円、こども 400円)
(全国交通系 IC カード、クレジットカード等のタッチ決済利用可)
- ◎ 問合せ先: 北陸鉄道テレホンサービスセンター Tel. 076-234-0123



左回りルート

右回りルート

🌸 金沢ショッピングバス

- ◎ 運 行: 土・日・祝日、年末年始。お盆期間のみ運行。
金沢駅～金沢のまちなかを 20 分間隔で運行。
- ◎ 料 金: 1乗車 おとな 210円、こども 110円 (クレジットカード等のタッチ決済利用可)
- ◎ 問合せ先: 北陸鉄道テレホンサービスセンター Tel. 076-234-0123



🚲 シェアサイクル まちのり www.machi-nori.jp



- ◎ 内 容: 電動アシスト自転車を、サイクルポート (市内 100 カ所以上) のどこでも借りられ返せる公共シェアサイクルサービス。
登録・利用は便利なスマホアプリでOK。
- ◎ 利用時間: 24 時間
- ◎ 利用料金: 【1回会員】最初の 30 分 165 円 / 回 超過料金 30 分ごとに 165 円
(クレジットカード、ドコモキャリア決済)
【1日パス】まちのり事務局・提携窓口 … 1,650 円 / 日 (現金可)
Webサイト … 1,650 円 / 日
(Webサイトはクレジットカード決済) ※詳細はお問合せください
- ◎ 問合せ先: まちのり事務局 Tel. 076-255-1747 (9:00～18:00)

720台のうち 台数わずか。
金箔仕様「はくのり」で
特別な“金沢ぶらさんぽ”を！



金沢クラフトインデックス

金沢を中心に活動・活躍するクラフト関係の作家、職人、企業、団体、店舗の情報をまとめたデータベースとマップです。

www.kanazawacraft.jp/craftindex

(金沢クラフトビジネス創造機構サイト内)



金沢市観光公式サイト 「金沢旅物語」

旬のかなざわ情報が
チェックできます。

www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp



 Kanazawa
MAP
ここを上
めくと
金沢市街地図



店内中央の「金箔霊泉」は、清水が湧き出る黄金の井戸。「金沢」の地名の由来になった「金城霊沢」を模して、囲みはすべて金箔を装い、純金露玉を散りばめた泉底が見どころです。

工芸体験
要 予約

Tel. 076-223-8989 予約受付 営業時間内

前日、当日予約は必ずお電話でお願いします。
ホームページの予約フォームあり。

- ◎ 体験時間：① 10:30～ ② 13:00～ ③ 15:00～
(団体様の場合、お時間をご相談ください)
- ◎ 所要時間：約30分
- ◎ 体験料：880円～
- ◎ 受入人数：1～30名様(定員数を超える場合はご相談ください)
- ◎ 対象年齢：年齢問わず
- ◎ 特典：店内商品10% OFF。

好きな柄を選んで
簡単に作れる！



A 今井金箔 本店

石川県金沢市幸町7-3 Tel. 076-223-8989

① 金沢周遊バス左回りルート ② 金沢ショッピングバス
→「本多町」下車 徒歩7分

- ◎ 営業時間：10:00～17:00
- ◎ 定休日：日曜、月曜、祝日、年末年始
- ◎ 駐車場：普通車・大型バス駐車場完備



創業 120 余年の老舗金箔メーカー
「かなざわカタニ」。ひがし茶屋街と
近江町市場の間にあるショップでは、
どなたでも簡単に金箔貼り体験が
楽しめます。実際に金箔をつかんで
貼る、というドキドキ、ハラハラ感を
味わってみませんか。



金箔メーカー直営店ならではの体験は一味違います。



本革キーホルダーへの
金箔貼りが大人気！



ショップは大通りから一本入った静かなエリアにあります。修学旅行
やツアーなどの体験受付も可能ですので、ご相談ください。

工芸体験
要 予 約

Tel. 076-231-1566

当日予約 9:00 ~ 16:00

ホームページの予約フォームあり。

- ◎体験時間：9:00 ~ 17:00 随時 (当日受付の場合 9:00 ~ 16:00)
- ◎所要時間：約 60分
- ◎体 験 料：800円～
- ◎受入人数：1 ~ 約 40名様
(最大受け入れ人数はお問い合わせください。)
- ◎対象年齢：7才以上

型抜きシールで、
簡単・楽しい！



MAP / A1

B 金箔貼り体験 かなざわカタニ

石川県金沢市下新町 6-33 Tel. 076-231-1566

① 金沢周遊バス ② 金沢ショッピングバス
→「武蔵ヶ辻・近江町市場」下車 徒歩5分

- ◎営業時間：9:00 ~ 17:00
- ◎定 休 日：年末年始
- ◎駐 車 場：普通車4台
小型バス1台
大型バス1台 ※事前連絡が必要



大正8年(1919)創業の「金銀箔工芸さくだ」。
ひがし茶屋街近くにある本店では、金箔貼り体験
のほか、職人の技が間近で見られる製造工程の
見学も可能。金屏風をはじめとする金箔工芸品が
並ぶ2階は、まばゆい輝きに包まれています。

オリジナルの作品を
旅の思い出に!



お香や丸箱、小箱、コンパクトミラーなど
いろいろ選べます。



製造工程の説明付きで見学できます。



2階は見ごたえのある屏風や金箔工芸
品を展示しております。金箔とプラ
チナ箔の化粧室も必見!



職人の伝統の技が生み出す唯一無二の
輝きをまとった工芸品や食品、化粧品な
ど多様な箔製品を取り扱っております。

工芸体験
要予約

Tel. 076-251-6777

当日予約可。

ホームページの予約フォームあり。

- ◎体験時間：① 9:00～ ② 10:30～
③ 13:00～ ④ 15:00～
- ◎所要時間：約60分
- ◎体験料：1,000円～
- ◎受入人数：1～50名様(日・祝は1～30名様)
- ◎特典：店内商品10% OFFクーポン進呈。



MAP / A1

金箔屋 さくだ 本店

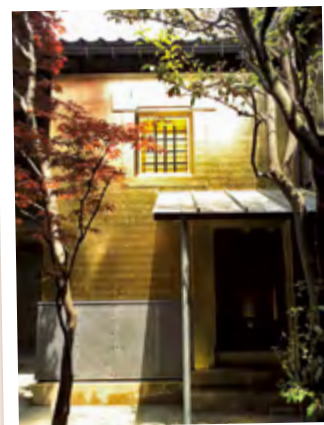
石川県金沢市東山1-3-27 Tel. 076-251-6777

- ① 金沢周遊バス右回りルート → 「機場町(ひがし・主計町茶屋街)」下車 徒歩3～4分
- ② 金沢周遊バス左回りルート → 「東山三丁目」下車 徒歩2～3分

- ◎営業時間：9:00～17:00(季節によって変動あり)
- ◎定休日：無休
- ◎駐車場：普通車6台・7m以内のバス可



国宝や重要文化財などの修復の金箔を手がける「箔座」。ひがし茶屋街の中ほどにある直営店「箔座ひかり蔵」内の「箔座稽古処」では金箔貼り体験ができます。少人数制なので、ご友人やご家族と落ち着いて楽しむことができます。



外壁を純金プラチナ箔、内壁を24Kの純金箔で仕上げた箔座ひかり蔵にある「黄金の蔵」は必見。



茶屋建築の風情ある空間で、ゆっくりとお楽しみいただけます。実用性の高い体験メニュー「箸」はお土産にもおすすめです。



桜、金魚、兎、椿の4種から図柄を選ぶ「四季皿」。グループでのご参加にも好適です。

工芸体験
要予約

箔座稽古処

Tel.076-252-3641

- ◎ 体験時間：① 10:00～ ② 13:30～ ③ 14:30～
- ◎ 所要時間：約 30分～
- ◎ 体験料：1,870円～
- ◎ 受入人数：1～4名様 / 1回
- ◎ 対象年齢：小学校5年生以上（低学年は保護者同伴）
- ◎ 定休日：火曜、水曜

一番人気の
体験メニュー「箸」。



箔座ひかり蔵

石川県金沢市東山1-13-18 Tel. 076-251-8930

- ① 金沢周遊バス右回りルート → 「機場町（ひがし・主計町茶屋街）」下車 徒歩3分
- ② 金沢周遊バス左回りルート → 「東山三丁目」下車 徒歩5分

◎ 営業時間：9:30～17:30

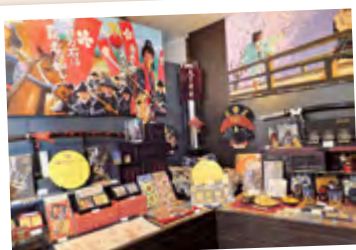
◎ 定休日：無休（箔座稽古処は上記のとおり）



MAP / A1



金箔問屋として明治30年(1897)に創業した田じま。「もうひと工夫」を信条に金箔の付加価値の創造を目指します。近江町市場近くの直営店では金箔貼り体験はもちろん、かわいい小物やレトログッズの販売などもあり、見どころが豊富です。



店内には金箔工芸品やお土産が豊富に揃っています。



シールを選んで自由にデザインする丸小箱が人気です。



金箔貼り体験のご予約は、ひと組ごと。予約時に希望の時間をお伝えください。近江町市場からほど近くにあるので、観光や買い物の間に気軽に立ち寄ることができます。

Tel. 076-201-8486

工芸体験
要 予約

予約受付 10:00 ~ 16:00
当日予約可。

- ◎ 体験時間：10:00 ~ 16:00
- ◎ 所要時間：約30分～
- ◎ 体験料：1,500円～
- ◎ 受入人数：1～8名様
- ◎ 対象年齢：園児以上

豊富な小判グッズに加えて、
金箔貼り体験も楽しめます！



E 金箔工芸 田じま

石川県金沢市武蔵11-1 プラサードムサシ2F Tel. 076-201-8486

- ① 金沢周遊バス ② 金沢ショッピングバス
- [武蔵ヶ辻・近江町市場]下車 徒歩2分
- JR 金沢駅から徒歩12分

- ◎ 営業時間：10:00 ~ 16:00
- ◎ 定休日：火曜（祝日の場合は営業）
- 年末年始ほか夏季休業あり



幅広い分野で金箔の可能性を探り、新しい箔文化を築く「箔一」。金箔のミュージアム「箔巧館」では、大型ツアーの対応も可能。限られた時間でも体験が楽しめるよう、時間やレベルに応じたアイテムを豊富に揃えています。

工芸体験
要予約

Tel.076-240-8911

空きがあれば、当日予約可。
ホームページの予約フォームあり。



- 体験時間：9:00～17:00 随時（受付は16時まで）
- 所要時間：（箔貼）約20～90分（箔移し）約10～20分／お1人様
- 体験料：（箔貼）1,500円～（箔移し）2,000円
- 受入人数：（箔貼）1～72名様（箔移し）1～3名様
- 対象年齢：年齢問わず
- 備考：英語対応可

金箔貼り体験は
20分のコースから用意。



一万枚以上の金箔を貼りめぐらせた「金箔の間」では、前田利家公が金沢城に入城するまでをイメージしたプロジェクションマッピングが見所。



金箔貼り体験は、時間や予算、レベルに応じてさまざまなメニューを用意。



匠の技を体感できる「箔移し体験」。少しの息で飛んで行ってしまう極薄の金箔を昔ながらの道具を使って移します。



MAP / B1

F 箔一本店 箔巧館

石川県金沢市森戸2-1-1 Tel. 076-240-8911
○北陸自動車道金沢西 IC から5分 / JR 金沢駅から車で15分

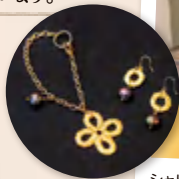
- 営業時間：9:00～18:00 冬季（12/1～2/末）9:00～17:00
- 定休日：1月1日
- 駐車場：自家用車15台、大型バス6台



「箔」で仕上げた Gold-Knot。深みのある輝きとはうらはらに、つけているのを忘れるほどの軽さが魅力的な金箔ジュエリーとしてブランド化し、尾山神社前の店舗から、NY、パリなど海外にも発信しています。



金箔とプラチナ箔のアクセサリはどれもオリジナル&世界にひとつだけのデザイン。



シャトルという舟形の道具を使いご自身が編まれたレースに金箔を施して、宝石類をあしらったアクセサリに仕上げて送ります。金箔模様がついたオリジナルシャトル (定価 4,400円) を特典プレゼント!

さまざまな形に編み上げたレースに金箔を何層も重ね上質な輝きを生ま出しています。



羽根のように軽やかなネックレスとピアス。金箔のきらめきをまとい、動くたびに柔らかく光を反射するデザインは、どんな装いにも寄り添います。

ワークショップ
要予約

Tel. 076-205-6202

予約受付 10:30 ~ 18:00

ホームページの予約フォームあり。

- 体験時間：11:00 ~
- 所要時間：約 180分
- 体験料：22,000円 ~ (絹糸、シャトル、淡水真珠等の宝石類、金具、金箔加工代を含む)
- 受入人数：1 ~ 4名様
- 対象年齢：小学生以上



MAP / A2

G 金箔ジュエリー Gold-Knot (ゴールド・ノット)

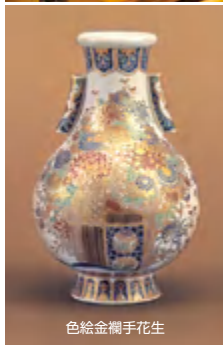
石川県金沢市南町5-6 Tel. 076-205-6202

① 金沢周遊バス ② 金沢ショッピングバス
→「南町・尾山神社」下車すぐ

●営業時間：11:00 ~ 18:00

●休 日：水曜、第2日曜、年末年始、その他

【金箔博物館】 安江金箔工芸館



色絵金欄手花生



前史罐 / 沈金鯉の図硯箱



高橋介州 / 加賀象嵌
「金銀の譜」飾り壺



金沢市立安江金箔工芸館は、金箔職人の「誇りとその証」を後世に伝えたいと、安江孝明氏(1898～1997)の強い思いによって1974年に設立されました。

金箔の製造工程や道具、また金や金箔を用いた美術工芸品を展示する、世界でも稀な金箔に特化した美術館です。

館は1985年に金沢市に寄贈され、2010年に東山へ新築移転しました。東山周辺は幕末ごろ多くの箔職人が生活した地域で、現在も金箔を商う店が軒を並べる金箔ゆかりの地です。建物は金沢町屋の蔵をイメージしています。

また館内には、金沢箔振興のための調査研究を行う「金沢箔技術振興研究所」が設置されています。

Kanazawa Yasue Gold Leaf Museum

金沢市立安江金箔工芸館

〒920-0831 石川県金沢市東山1-3-10
Tel. 076-251-8950 Fax. 076-251-8952
www.kanazawa-museum.jp/kinpaku/



- ◎ 開館時間：9：30～17：00（入館は16：30まで）
- ◎ 休 日：火曜日（休日の場合はその直後の平日）
展示期間、年末年始（12月29日～1月3日）
- ◎ 入 館 料：一般 …………… 310円
団体（20名以上）…………… 260円
65歳以上・障害者手帳（※）をお持ちの方及びその介護人 } …… 210円
※障害者手帳アプリ「ミライID」の提示でも対象（祝日無料）
高校生以下 …………… 無料

Kanazawa-Haku Research Center

金沢箔技術振興研究所

〒920-0831 石川県金沢市東山1-3-10
（金沢市立安江金箔工芸館3F）
Tel. 076-225-8941 Fax. 076-225-8942
www.kanazawahaku-giken.jp





JRの所要時間

- 東京から 東京駅→金沢駅 / 約2時間30分 (北陸新幹線)
- 大阪から 大阪駅→金沢駅 / 約2時間30分 (特急サンダーバード+北陸新幹線)
- 名古屋から 名古屋駅→金沢駅 / 約2時間30分 (東海道新幹線、特急しらさぎ+北陸新幹線)

飛行機の所要時間

- 東京から
羽田空港→小松空港 / 約1時間
小松空港→金沢駅
(リムジンバス約40分)

高速道路の所要時間

- 東京から 練馬IC→藤岡JCT→上越JCT→金沢東IC / 約5時間20分

金箔技術振興研究所 <https://www.kanazawahaku-giken.jp>

〒920-0831 石川県金沢市東山 1-3-10 (金沢市立安江金箔工芸館 3F)

Tel. 076-225-8941 Fax. 076-225-8942